

ホザキヤドリギ		<i>Loranthus tanakae</i> Franch. et Sav.	絶滅危惧 I 類
		ヤドリギ科	
選定理由	深山の樹林帯に生える寄生植物で、全国的に希少であり、岐阜県においても個体数が少ない。	<p>写真(古田之子)</p>  	
形態の特徴	広葉樹に寄生する落葉低木で高さは20~40cm。葉は長楕円形。夏、枝の先に穂状花序を付け花は淡黄色であり、果実は楕円形で淡黄色である。		
生態的特徴	山地のミズナラ、シラカバ、ハンノキなどの落葉広葉樹に寄生する。		
分布状況	東北地方と中部地方の中北部に分布し、岐阜県においては県北部の一部に見られる。		
減少要因	生育条件の悪化による。		
保全対策	生育地の保全。自然木利用が高まっている今日、自然林の伐採による減少が懸念される。		
特記事項	標本数が極めて少なく調査が必要である。		
参考文献	平凡社:日本の野生植物		